



平成20年5月8日

各 位

会 社 名 VTホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 高橋一穂
 (コード番号 7593 名証第2部、大証HC)
 開 示 責 任 者 取締役管理部長 山内一郎
 (TEL 052-203-9500)

平成20年3月期 業績予想および期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成20年3月期の連結業績予想および個別業績予想ならびに期末配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 平成20年3月期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)
 (単位:百万円, %)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	110,000	3,000	2,900	1,000
今 回 修 正 予 想 (B)	108,000	3,370	3,050	1,150
増 減 額 (B - A)	△2,000	370	150	150
増 減 率 (%)	△1.8%	12.3%	5.2%	15.0%
前 期 実 績 (平成19年3月期)	97,735	2,820	2,841	△719

- 2 平成20年3月期個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)
 (単位:百万円, %)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,000	330	320	240
今 回 修 正 予 想 (B)	1,300	570	820	410
増 減 額 (B - A)	300	240	500	170
増 減 率 (%)	30.0%	72.7%	156.3%	70.8%
前 期 実 績 (平成19年3月期)	2,361	1,596	1,586	△1,203

- 3 平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 期末配当予想の修正内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中 間 期	期 末	年 間
前回予想 (平成20年4月8日)	2円 (普通配当2円) (特別配当0円)	3円 (普通配当2円) (特別配当1円)	5円 (普通配当4円) (特別配当1円)
今回修正予想		4円 (普通配当2円) (特別配当2円)	6円 (普通配当4円) (特別配当2円)
当期実績	2円 (普通配当2円) (特別配当0円)		
前期実績(平成19年3月期)	0円	0円	0円

4 業績予想修正の理由

連結業績予想に関しましては、国内の新車販売台数が前年割れとなる厳しい環境の中で、当社グループは「新車販売に左右されない企業体質」をテーマに、更なる事業規模拡大に向けての強固な企業体質づくりと業績向上に努めた結果、新車部門では、既存店ベースの販売台数は前年を若干下回りましたが、M&A戦略により新たに子会社化したディーラーの販売台数が通期フル寄与したことにより、当社グループの新車販売台数は26,714台（前年同期比3.6%増）と好調に推移いたしました。中古車部門では、輸出用船舶が逼迫したため輸出台数は7,414台（前年同期比4.1%増）と伸び悩みましたが、M&A戦略により国内販売台数が大幅に増加し、当社グループの中古車販売台数は42,129台（前年同期比11.3%増）と新車、中古車部門ともに販売台数を伸ばすことができました。また、新車、中古車部門ともに台当たり利益率の改善に努め、また、レンタカー部門では営業拠点網の全国展開に向け、直営・フランチャイズ両面で店舗展開を行うなど、当社グループの中核事業であります自動車販売関連事業は各部門とも前年同期に比べ収益を伸ばすことができました。

また、自動車販売関連事業以外の不動産賃貸事業、住宅関連事業、環境関連事業等のその他事業も概ね好調に推移いたしました。

以上により、売上高はほぼ予想並みでしたが、営業利益、経常利益、当期純利益とも予想を上回ることができました。

個別業績予想に関しましては、投資収益、子会社からの受取配当金が増加したことにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも増加いたしました。また、子会社に対する貸付金の回収可能性を見積もった結果、貸倒引当金繰入等の特別損失（445百万円）が発生したことにより当期純利益の増加額は経常利益の増加額を下回っております。

また、上記の予想は、本資料の発表時点において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、来期業績予想に関しては、5月15日の決算発表と同時に公表させていただきます。

5 期末配当予想修正（増配）の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重点課題と認識しており、配当政策については企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保の充実を図るとともに、配当性向20%を意識して業績に応じた配当を継続して行うことを基本方針としております。

当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にありますが、今回の業績予想修正に伴い、期末配当は従来予想の特別配当に更に1円を加え合計4円の期末配当を実施いたしたく、平成20年5月開催予定の決算取締役会に付議することと致しました。これにより、年間配当金は中間配当金2円と合わせて、1株当たり6円となります。

以上